

令和5年度 発達障害支援専門職研修課程(特定研修生)実施要項

学院児童指導員科(発達障害支援者養成)において、特定研修生として受講を希望する者は、次により申込みをしてください。

- | | |
|-----------|--|
| 1、受講資格 | ・発達障害支援に携わる医療、教育、福祉分野における現職者
・所属長からの推薦がある者 |
| 2、定員 | 6名 |
| 3、研修期間 | 2023/9/1～2024/3/31
※うち10/1～2/28までを必修期間とする |
| 4、申込期間 | ・2023年1月1日～2月28日(第1期)
・2023年4月1日～5月31日(第2期)
・2023年6月1日～7月31日(第3期)
※定員になり次第、終了 |
| 5、提出先 | 郵送(書留)または持参により提出してください。(当日消印有効)
〒359-8555
埼玉県所沢市並木 4-1
国立障害者リハビリテーションセンター
学院 事務室 |
| 6、提出書類等 | ①特定研修生受入願
②履歴書
③健康診断書
④研修計画書
⑤勤務証明書
⑥推薦書(所属長) |
| 7、選考方法 | 研修計画書に基づいた面接 |
| 8、選考料 | なし |
| 9、研修費 | 実費負担(教材費として5万円程度)
※残金は修了時に返金 |
| 10、問い合わせ先 | 〒359-8555
埼玉県所沢市並木 4-1
国立障害者リハビリテーションセンター
学院 児童指導員科
電話:04-2995-3100(内線2626) |

(別紙)

令和5年度 発達障害支援専門職研修課程(特定研修生)実施要項

2022.4.1

科目分類	履修科目	担当講義	講師名	履修時間			
				講義	演習	実習等	合計
発達障害福祉論	社会福祉行政論	児童福祉	児童相談係長(厚生労働省)	4			8
		障害福祉	田中 正博(日本発達障害連盟)	4			
	医学概論		江藤 文夫(国立障害者リハビリテーションセンター)	4			4
	リハビリテーション概論	リハビリテーションとQOL	芳賀 信彦(国立障害者リハビリテーションセンター)	2			12
		ICF概論	阿久根 徹(国立障害者リハビリテーションセンター)	2			
	行動障害		小石 誠二(川崎こども心理ケアセンターかなで)	8			8
			岡田 英己子(東京都立大学)	8			
	生命倫理学	自己決定権、インフォームドコンセント	関 剛規(国立障害者リハビリテーションセンター)	8			16
	発達障害医学		本田 秀夫(信州大学)	16			16
	発達障害福祉史	世界史	岡田 英己子(東京都立大学)	12			24
		日本史	関 剛規(国立障害者リハビリテーションセンター)	12			
	看護概論		櫻井 初子(訪問看護ステーション てのひら)	16			16
	乳幼児保健論		中嶋 彩(ネストやまなし)	16			16
	重症心身障害論		櫻井 初子(訪問看護ステーション てのひら)	8			8
	知的障害者福祉論		関 剛規(国立障害者リハビリテーションセンター)	16			16
	発達障害者福祉論		渡邊 文人(国立障害者リハビリテーションセンター)	4			16
		泉 浩平(国立障害者リハビリテーションセンター)	4				
		石坂 務(国立障害者リハビリテーションセンター)	4				
発達障害者福祉論		与那城 郁子(国立障害者リハビリテーションセンター)	4			16	
精神障害者保健福祉論		荒田 智史(FLATSEILサイドクリニック)	16			16	
ソーシャルワーク理論		秋山 佳秀(国立障害者リハビリテーションセンター)	16			16	
発達障害支援論	児童発達支援論		田ヶ谷 雅夫(ぶどうの里)	8			16
			五味 洋一(群馬大学)	8			
	生涯発達論		川淵 竜也(国立障害者リハビリテーションセンター)	16			16
	家族支援		白馬 智美(横浜総合リハビリテーションセンター)	8			16
		長瀬 麻香(横浜総合リハビリテーションセンター)	8				
	就労支援		藤巻 鉄士(練馬区立大泉障害者地域生活支援センター)	16			16
	強度行動障害		関 剛規(国立障害者リハビリテーションセンター)	16			16
	性と支援		山本 良典(東京都心身障害者福祉センター)	16			16
	虐待		工藤 宏子(文教大学)	16			16
	触法・非行		渡辺 守(国立のぞみの園)	12			16
		峯岸 一馬(国立のぞみの園)	4				
		有賀 道生(桐の木クリニック)	4			16	
発達障害演習	研究方法		川淵 竜也(国立障害者リハビリテーションセンター)		16		16
	支援技法	概論	関 剛規(国立障害者リハビリテーションセンター)		4		44
		TEACCH	諏訪 利明(川崎医療福祉大学)		16		
		感覚刺激と感覚運動	杉本 拓哉(国立障害者リハビリテーションセンター)		8		
		行動障害	高橋 潔(弘済学園)		8		
		障害スポーツと余暇	野村 一路(日本体育大学)		8		
	個別支援計画		関 剛規(国立障害者リハビリテーションセンター)		20		20
	コミュニケーション支援		倉井 成子(学院外部講師)		12		20
	スーパービジョン		田中 里実(国立障害者リハビリテーションセンター)		8		20
	カウンセリング		川淵 竜也(国立障害者リハビリテーションセンター)		20		20
	面接技法		渡邊 和実(警察庁科学警察研究所)		8		8
			平間 一樹(警察庁科学警察研究所)		8		
	アセスメント	ABA	川淵 竜也(国立障害者リハビリテーションセンター)		8		20
Vineland II		川淵 竜也(国立障害者リハビリテーションセンター)		12			
多職種連携	自立支援協議会	福岡 寿(学院外部講師)		4		20	
	発達障害	松上 利男(北摂杉の子会)		4			
	医療、教育、福祉の連携	西牧 謙吾(国立障害者リハビリテーションセンター)		4			
	地域連携	瀬田 裕弘(うめだ・あけぼの学園)		8			
事例研究	施設	安田 知明(ありのまま舎)			8	40	
	地域	山口 玲子(きらきら里)			8		
	学校	佐々木 仁子(埼玉YMCA)			8		
	児童	中村 みゆき(ライフ・ステージ・サポートみえ)			8		
	幼児	立松 英子(東京福祉大学)			8		
実習	療育実習/職場モニタリング実習※	児童指導員科教官			94	94	
特別講義	研修会	研修会講師(国立障害者リハビリテーションセンター)			160	166	
	法学Ⅱ	障害児専門官(厚生労働省)		2			
	法学Ⅲ	知的障害専門官(厚生労働省)		2			
	法学Ⅳ	発達障害専門官(厚生労働省)		2			
特別研究	(事例研究/文献・調査研究)	児童指導員科教官			40	40	
合計				318	188	334	840

※全カリキュラム時間の2/3以上を受講する

※A. 療育実習

- ・ インテーク面接、実習前面接、療育5回(10月～12月の土曜日半日)、ケースカンファレンス1回
- ・ 病院での診察、発達検査、面談などへの同席(11月中旬予定)

B. 職場モニタリング実習

- ・ 研修成果活用のための職場アセスメントやプランニング
- ・ 3月実施(研修のまとめと4月に向けた準備)